

250kW水素混焼発電機の開発について

デンヨー株式会社

本社・東京都中央区日本橋堀留町 2-8-5

代表取締役社長・白鳥昌一

デンヨーは、株式会社日立製作所（以下、日立）と株式会社小松製作所（以下、コマツ）の協力を得て、250kW 水素混焼発電機の 2023 年の量産開始を目指し開発に取り組んでおります。

水素混焼発電とは、軽油や都市ガスなどの燃料に水素を混焼させることにより、二酸化炭素（CO₂）の発生を抑制する技術で、当社は可搬形発電機のトップメーカーとして軽油と水素の混焼に取り組んでおり、2018 年に福島県において 500kW 発電機の実証^{*1}を、2021 年 2 月から宮城県富谷市においても停電時でも発電を可能にする 44kW 発電機を提供するなどデータ収集に努めてまいりました。

水素混焼発電には、水素と軽油の混合比率の調整や燃焼温度の管理などの課題があり、この度の 250kW 水素混焼発電機の開発は、水素の供給部に日立の協力を、エンジン内の燃焼にコマツの協力を得て、水素の混焼率を 50%とし、軽油のみを燃料とする場合と比較して二酸化炭素（CO₂）の発生を 50%削減^{*2}するもので、今後も水素社会の実現に向けた取り組みを強化してまいります。



* 1 当社子会社のデンヨー興産株式会社と日立、国立研究開発法人産業技術総合研究所が「平成 30 年福島県における再生可能エネルギー導入促進のための支援事業」に採択され共同で実施した実証事業。

<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2018/05/0524.pdf>

* 2 軽油消費量減少による理論値

<本リリースに関するお問い合わせ先>

デンヨー株式会社 経営企画室

Tel : 03-6861-2304 FAX : 03-6861-1185